

令和6年度 教育委員会事務局長「政策宣言」 中間報告

教育委員会事務局長 久々江 豊

○ 令和6年度重要事業

事業名	コミュニティ・スクールの推進
目標	全ての小・中学校に学校運営協議会を設置するとともに、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、地域と保護者、学校が一体となって子ども達を育む「射水市コミュニティ・スクール」を推進します。
進捗状況	全ての小・中学校に、学校運営協議会の設置及び学校支援コーディネーターを配置し、コミュニティ・スクールを導入しました。
今後の対応	各校の教育方針について、地域、保護者、学校がより効果的な活動や支援を行えるよう、引き続き、学校運営協議会で協議するとともに、学校支援ネットワークの更なる拡充を図り、特色ある学校運営や教育活動の実施に努めます。

事業名	持続可能な部活動の推進
目標	休日の部活動の地域移行について、運動部活動における実証事業により見えてきた課題を整理しながら実施競技を拡充するとともに、文化部活動においても関係団体と協議を進めます。競技団体等や保護者の協力を得ながら、休日におけるすべての部活動の地域移行に向けた取組を進めます。
進捗状況	昨年度までに移行済みである6部活動（剣道、柔道、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球）に加え、新たに3部活動（バレーボール、ソフトボール、美術）の地域移行モデル事業を開始します。
今後の対応	モデル事業での成果と課題を検証するとともに、未実施の運動部、文化部も含め、関係諸団体と対話を重ねながら、休日の部活動の円滑な地域移行に向けて取り組めます。

事業名	スポーツ活動の推進と文化財の保存活用
目標	<p>令和6年度からスタートした第2次射水市スポーツ推進計画に基づき、幼児から高齢者まで市民一人ひとりがライフスタイルに応じて、スポーツ活動に親しむことのできる環境づくりに努めます。</p> <p>また、令和6年能登半島地震で被害を受けたスポーツ施設の早期復旧に努めます。</p> <p>文化財では、ユネスコ無形文化遺産に追加提案された放生津八幡宮祭の曳山・築山行事を始めとする、市内にある各種文化財の保存活用・普及啓発に努めます。</p>
進捗状況	<p>幼児の体力向上支援及び運動習慣の形成を促す「からだ育て教室」や地域おこし協力隊の企画による「ムズムズトレーニング教室」に加え、市政出前講座として誰でも気軽に楽しむことのできる「ニュースポーツ・ゆるスポーツ教室」を開催しました。</p> <p>また、スポーツ施設の復旧については、海竜スポーツランド及びオリバースポーツフィールド射水の復旧工事に着手しました。</p> <p>文化財では、放生津八幡宮祭の曳山・築山行事の保存活用計画作成や、令和6年能登半島地震による文化財等の被害状況調査及び修理等の支援、埋蔵文化財センターでの体験教室等を通して、文化財の保存活用と普及啓発に取り組んでいます。</p>
今後の対応	<p>市民の皆さんが普段からスポーツ活動に親しんでいただける環境づくりに取り組むとともに、スポーツ施設の年度内の早期復旧に努めます。</p> <p>また、文化財保存活用計画の作成支援をはじめとする文化財の保存・活用と普及啓発の取組を推進します。</p>